



2026年2月20日
株式会社 山梨中央銀行

カーボンオフセット燃料の導入について

株式会社山梨中央銀行（頭取 古屋 賀章）は、脱炭素に向けた取組みとして、当行本店ビルおよび電算センターで使用する重油について、株式会社吉字屋本店（代表取締役社長 高野 孫左エ門）が提供する「出光カーボンオフセット fuel J」（以下、ICOF）を導入しました。

当行は、長期目標として 2030 年度までに温室効果ガス（以下「CO₂」といいます）排出量（Scope1、2）ネットゼロを掲げ、再生可能エネルギーの導入や省エネルギー設備の導入等を積極的に促進しています。

今後も脱炭素に向けた取組みを強化し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

<概要>

今般、導入したICOFは、J-クレジット[※]を付与した燃料であり、燃料油使用時に排出されるCO₂を実質的にゼロにすることが可能です。これにより、8,000 l の重油から排出されるCO₂が相殺され、約 22 t -CO₂の排出量削減効果が見込まれます。

※ 省エネルギー設備等の導入や森林の適切な管理による温室効果ガスの削減・吸収量をクレジット（排出量）として国が認証し、取引可能にする仕組み。



初入荷時の様子



左から、吉字屋本店・高野社長、当行・古屋頭取

以上